

感染状況は「微増」です
 今日インフルエンザ6名、集中して広がっている学級は特にありません。今週は、連日発熱による早退児童が1~2名いたのですが、大きな広がりも見られず少しホッとしています。
 2学期の登校日も残り2日。今年度から2学期末の通信票は配付しませんが、矢野目っ子発表会での勇姿を大きな「はなマル」で評価・称賛していただくことで、2学期の振り返りとまとめをお願いします。

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に



スマホ「18の約束」 冬休み前に、お子さんとの約束の再確認を！

昨年度も紹介しましたが、これは2012年のクリスマス。アメリカで、ある母親が13歳の息子にスマホを与えるときに交わした「18の約束」です。(原題は「Gregory's iPhone Contract」)。特に多くの親に支持された背景には、子どもにスマホを与えることへの不安の大きさがあります。今や、大人だけではなく子どもの世界でも当たり前存在になりつつありますが、スマホ使用の危険性は当時よりも飛躍的に高くなっていると感じます。スマホやSNSは便利な反面、使い方を間違えば、時には命を奪われたり、自分の命を自分で絶ってしまったりすることにもなりかねない、非常に危険なテクノロジーです。

SNSと上手に付き合うためのとても重要なポイントが詰まっています。「子どもを信頼すること」「子どもに信頼されること」「親子一緒にルールを守っていくこと」や「与える親としての責任と覚悟」です。

お子さんにスマホを与える時に、(もうすでに与えているご家庭の場合は、今回、改めて、)しっかりと確認し、一つ一つの約束やルール、向き合い方を共有して下さい。この中から、部分的にでもご家庭でご活用いただくことで、今の生活だけに留まらず、これからの人生や生き方にも大きく影響するものと考えます。かなり量が多いので、2枚目まで使ってお届けします。大量ですが、とても大切な中身ですので、週末に時間をとって、ぜひ最後まで、一つ一つ、家族で読んでみてください。



これはママからのスマホの契約書です ~13歳の息子へ、愛を込めて~

親愛なるグレゴリーへ
 メリークリスマス！



ついにあなたは誇り高き iPhone のオーナーです。やったね！あなたは良い子で、責任感ある13歳の男の子だからこの贈り物にふさわしい。でも、このプレゼントにはルールと規則があります。下に続く契約書を読んでください。テクノロジーに支配されることなく、共存できるような、健康でバランスの取れた若者に、あなたを成長させることが私の仕事だと理解して欲しい。

契約書のリストに従わない場合、iPhoneの所有権を停止します。

私はあなたを心から愛しています。これから先、あなたと何百万通ものメッセージをやり取りするのを楽しみにしています。

<スマホ18の約束>

- これは私のスマホです。私が買いました。あなたの毎月の通話料も私が払います。私ってエラくない？
- パスワードは常に私に知らせること。
- スマホが鳴ったら出なさい。それは電話です。挨拶をして、礼儀正しく。画面に”ママ” ”パパ”の文字が見えたら、絶対に無視しないこと。絶対に！

- 学校がある日は夜7時30分、週末は夜9時になったら、速やかに両親のどちらかにスマホを手渡すこと。夜間は電源を切って、朝7時30分に再び電源を入れます。先方の親が最初に出るかもしれない固定電話にかけられないと思う時間には、スマホでもメールも電話もしないこと。本能に耳を傾けて、私たちが尊重されたいと思うように、他の家族も尊重すること。
- 携帯電話を学校に持っていかないこと。メールを交わしている相手と実際に会話をしなさい。それがライフスキル、生きていくための大事なことです。* 課外学習や遠足、放課後遊びなどは特別に考慮します。
- トイレに落としたり、地面に叩きつけたり、失くしてしまったりした場合は、あなたに責任を持って交換費用や修理代を支払ってもらいます。芝刈りしたり、子守りしたり、誕生日のお金を貯めるなどしてね。必ず起こることだから、しっかり準備しておくように。
- この機能を使って人に嘘をついたり、馬鹿にしたり、欺いたりしてはいけません。誰かを傷つけるような会話には参加しないで。まずはいい友達になること。厄介なことに巻き込まれないように。



- 8 直接相手に言えないことは、スマホでも言わない、メールにも書かないこと。
- 9 友達の親がいる前で言えないことは、スマホのメッセージでもメールでも書かないこと。書く前に自分でしっかり確認しなさい。
- 10 アダルトサイトは禁止。ネットでは私と共有できる情報を調べなさい。もし何か疑問がある場合は、誰か・・・できれば私かパパに聞くように。
- 11 公共の場では電源を切り、音をさせないようにしておくこと。とくにレストラン、映画館、または誰かが話している間は。あなたは礼儀正しい子です。スマホにその場を変えさせてはいけません。
- 12 あなたや誰かのプライベートな部分の写真を送ったり受け取ったりしてはいけません。どんなにあなたが賢くても、いつか誘惑にかられる時があるでしょう。それはとても危険なことで、あなたの10代～大学生～大人と、すべての人生を台無しにしかねません。それはいつだって最悪なこと。インターネットの世界は広大で強力です。広まった悪い評判を消すことはとてつもなく難しいのです。
- 13 写真や動画をたくさん撮らないこと。すべてのものを記録する必要はありません。あなたの経験を大事にして。それは永遠に記憶に残るから。
- 14 たまには家にスマホを置いて、それでも安心できるようにになりなさい。スマホは生き物ではなく、あなたの付属品でもありません。スマホのない生き方を学んで「何かを見逃す不安」を超える強さを持ちなさい。



- 15 新しい音楽でも、クラシックでも、何百万人が聞いているのとは違う曲でも、ダウンロードして楽しみなさい。あなたの世代は、これまでの歴史にもないほど、さまざまな音楽にアクセスできるので。この恩恵を受け、あなたの世界を広げなさい。
- 16 たまには、昔ながらのワードゲーム、パズル、知能ゲームなどで遊びましょう。
- 17 スマホから顔を上げ、あなたの周りの世界で起きていることを見なさい。窓の外を眺め、鳥の声を聴き、散歩して、初対面の人と話しをして。ネット検索をしなくて自分の頭で考えて!
- 18 ここまでの約束で、あなたは失敗するでしょう。その時はスマホを取り上げます。そして、また話し合しましょう。そこからまた始めればいいのです。あなたと私、私たちは常に学んでいくのです。私はあなたのチームメイト。一緒に歩んでいきましょう!

あなたがこれらの約束に同意してくれることを願っています。

ここに挙げたほとんどの教訓は、スマホだけでなく人生にも当てはまります。目まぐるしく変化する世界で成長することは、とても刺激的で魅力的です。だからこそ、どんな機器よりもあなたのパワフルで大きな心を信じてほしい。

ママはあなたを愛しています。

さあ、新しく素晴らしいスマホを楽しんで!

愛を込めて ママより

かなり内容が多かったと思いますが、読んでいただけたでしょうか?

私自身の経験を振り返ると、わが子3人それぞれに携帯を預けたのは高校入学時でした。中学校の途中から持つ子もいましたが、その当時は少数派でした。多くの子どもが「高校入学時から」というのが当たり前前の時代だったと思います。

この「18の約束」の内容等について、当時の我が家では、しっかりと確認したり約束したりということは、残念ながらここまで丁寧にはしませんでした。それは、私自身の知識不足・経験不足があったと思います。当時、この内容や項目が分かっていたら、「もう少しまともな親になれていたかも・・・」と後悔しています。今は状況が変わっており、「スマホは何歳から」という一般論はないと思います。



「わが子にスマホを」と考える際には、ある程度の成長・発達・判断力が必要だということを、親自身がしっかりと理解した上で判断する必要があります。 スマホやSNS、インターネットの危険性や発信する責任を自覚して、時と場に 応じて安全・適正に使うことができるだけの判断力があるかどうかを見極めることが大切です。 ただ、そこには、当然リスクが伴うことも理解し、覚悟が求められます。



各ご家庭で「18の約束」の内容を家族みんなで確認し、テクノロジーに支配されたり、振り回されたりすることなく上手に共存し、健康でバランスの取れた人間として成長させることを最優先目標とした子育てに取り組んでみて下さい。